

平成25年度第1回県立モデル校プロジェクト会議

～今、すべての県立学校から「地域と共にある学校づくり」を進める！～
＜規範意識や社会性は、地域を知り、地域と関わることで課題解決の契機となる＞

＜日時及び会場＞平成25年5月13日（月）14:00～16:00 県庁第1会議室

＜出席者＞ 県立モデル校7校の校長

（山辺高校・添上高校・五條高校・青翔高校・香芝高校・大宇陀高校・奈良西養護学校）
県学校コミュニティ・アドバイザー（文科省CSマイスター）高木和久氏

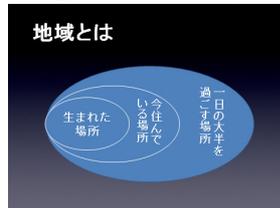
＜内容＞

1 オープニング

プレゼンテーションⅠ「奈良の魅力、地域の絆」
プレゼンテーションⅡ「地域と共にある学校づくり」
～県立モデルの推進～

【事務局説明の要旨】

- (1)各校の取組→テーマの絞り込み→キャッチフレーズへ
- (2)小中学校における学校コミュニティ（＝奈良モデル）のしくみの紹介
- (3)7つの観点とその指標について（試案として）
- (4)キャッチフレーズの設定について



【地域の捉えとして】



【全体会の様子】

2 各モデル校からの報告（取組の現状と今後の計画）

【山辺高校（松長校長）】

- 新たな取組として、大和茶カフェを地域で開店するとともに、和スイーツを提供する。
- イヌとかかわることで、生きものへの思いやりの心を育て、命の大切さを実感させる動物愛護活動を実施。

【添上高校（浦井校長）】

- 学校の施設、人材（教師・生徒）、特長等を活かして、地域との協働の在り方を検討する。
- スポーツやボランティア活動等を通して、みんなが顔見知りの地域づくりを目指す。

【五條高校（秦校長）】

- 中学生のための教科開放講座やスポーツ教室を開催。
- 市内小学校の運動会に出身生徒が補助として参加。

【青翔高校（荒木校長）】

- 御所柿の遺伝子調べやオオサンショウウオの生息地調査などを予定。地域の資源を活用し、学びの成果を地域に還元していきたい。
- 今後の取組を地域に広め深めるようにしていきたい。

【香芝高校（窪西校長）】

- 学校と地域が協働する、都市型住宅街ならではのネットワークづくりを計画していきたい。
- 生徒が、地域の幼児から高齢者まで幅広い年齢層の人々とふれあうことを通して、将来各地域を支える人材となることができるよう、その基盤づくりを行っていきたい。

【大宇陀高校（榎田校長）】

- 幼稚園や老人ホーム、うだアニマルパーク等、地域にある公的施設との計画的な双方向の交流を推進していく。
- 高齢化の進む住民と地域への帰属意識の低い生徒たちを本校がジョイント。大宇陀・はつらつコミュニティ懇談会を開催。学校が地域へ出向いていきたい。

【奈良西養護学校（藤田校長）】

- 「地域とともに生きる学校づくり委員会（校内）」と「地域～絆～づくり懇談会（地域）」が連携・協働し、地域に根ざした特別支援学校及び福祉の町づくりを目指して、検討していく。
- 最長で12年間過ごす生徒もいる。子どもたちにとって「ふるさと」の1つになるこの地域を愛し、社会性を身に付けるようにしたい。

3 高木和久先生よりの指導助言

- 教職員が今までの地域に対する価値観を少し高めてもつことで、学校や地域を変えることになる。学校は地域の一部であり、子どもたちにとって、地域は学びのコミュニティである。
- 地域と共にある学校づくりを推進するには、課題を明確にし、その解決のために何をしていくかが大事。今日お集まりの校長先生方は課題をはっきりもっておられる。各校のチーム力をどのように高めるかは校長の力。校長の強みを生かす学校づくりを推進していただきたい。



【事務局説明】



【モデル校情報交換Ⅰ】



【モデル校情報交換Ⅱ】



【高木先生からのご指導】